

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
鍼灸科											
はり実技3											
対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	45	単位	1
担当教員	小堀孝浩・宮本陽平			実務 経験	有	職種	鍼灸師				
授業概要											
1年時に学んだ解剖学的知識を活かし、身体の筋肉、神経、関節部などに対する触診・刺鍼を学び、体得する。その技術を応用し、低周波鍼通電療法（以下、鍼通電療法）の方法と適切に評価する力を身につけることを目的とする。											
到達目標											
解剖学的知識を復習して、全身の筋肉や神経などをイメージしながら触診・刺鍼できるように修練し、低周波鍼通電療法の基本的な方法を習得することを目標とする。また、鍼通電療法の臨床現場での応用についても学ぶようにする。											
授業方法											
現代医学的な診察法の基本を復習し、鍼灸施術に活かすための診察の基礎を学ぶ。診察の仕方や評価法を練習し、体得する。提示された症例をもとに、診察の模擬授業を行い、診察力と対応力を身につける。 ※授業に臨むにあたり、予習・復習をすることが大切である。予習をすることによって、授業中にすぐ身体が動くように準備しておくこと、復習することによって、自分なりに振り返りや課題を見つけることが重要である。											
成績評価方法											
期末試験を中心に平常授業での態度、課題提出状況などを加味して評価する。											
履修上の注意											
授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。											
教科書教材											
担当教員が資料を作成し、毎回配布する。											
回数	授業計画										
第1回	概論鍼通電療法の総論①										
第2回	鍼通電療法の総論②、体験授業										
第3回	基本刺鍼練習、教員への刺鍼練習										

はり実技3

第4回	腰背部の鍼通電療法
第5回	殿部の鍼通電療法
第6回	大腿前面部の鍼通電療法
第7回	大腿後面部の鍼通電療法
第8回	復習の時間・臨床現場について①
第9回	大腿前内側部の鍼通電療法
第10回	下腿前面部の鍼通電療法
第11回	下腿外側面の鍼通電療法
第12回	下腿後面部の鍼通電療法
第13回	総合演習
第14回	肩上部の鍼通電療法①
第15回	肩こり

はり実技3

第16回	肩こり
第17回	肩こり
第18回	肩関節痛
第19回	肩関節痛
第20回	肩関節痛
第21回	肩関節痛
第22回	頸上肢痛
第23回	まとめ